

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成21年4月23日(2009.4.23)

【公表番号】特表2008-537732(P2008-537732A)

【公表日】平成20年9月25日(2008.9.25)

【年通号数】公開・登録公報2008-038

【出願番号】特願2008-501052(P2008-501052)

【国際特許分類】

A 6 1 K	31/215	(2006.01)
A 0 1 N	25/02	(2006.01)
A 0 1 N	25/30	(2006.01)
A 0 1 N	37/36	(2006.01)
A 0 1 N	37/40	(2006.01)
A 0 1 P	3/00	(2006.01)
A 6 1 K	31/618	(2006.01)
A 6 1 K	47/10	(2006.01)
A 6 1 K	47/20	(2006.01)
A 6 1 K	47/34	(2006.01)
A 6 1 K	9/06	(2006.01)
A 6 1 K	9/107	(2006.01)
A 2 3 L	3/3517	(2006.01)
A 2 3 B	4/20	(2006.01)
A 2 3 B	9/00	(2006.01)
A 2 3 B	7/00	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	31/215	
A 0 1 N	25/02	
A 0 1 N	25/30	
A 0 1 N	37/36	
A 0 1 N	37/40	
A 0 1 P	3/00	
A 6 1 K	31/618	
A 6 1 K	47/10	
A 6 1 K	47/20	
A 6 1 K	47/34	
A 6 1 K	9/06	
A 6 1 K	9/107	
A 2 3 L	3/3517	
A 2 3 B	4/14	B
A 2 3 B	9/00	
A 2 3 B	7/00	

【手続補正書】

【提出日】平成21年3月9日(2009.3.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【特許請求の範囲】

## 【請求項1】

抗菌組成物であって、

(C2～C8)ヒドロキシカルボン酸の(C7～C14)飽和脂肪族アルコールエステル、(C2～C8)ヒドロキシカルボン酸の(C8～C22)モノ-もしくはポリ-不飽和脂肪族アルコールエステル、上記のもののいずれかの1モルのヒドロキシカルボン酸あたり5モル未満のアルコキシドを有するアルコキシリ化誘導体、またはそれらの組合せを含む有効量の抗菌成分を含み、

前記組成物が無水であるか、および/または前記抗菌成分中の前記脂肪族アルコールエステルが少なくとも60%純度である、抗菌組成物。

## 【請求項2】

抗菌組成物であって、

(C2～C8)ヒドロキシカルボン酸の(C7～C14)飽和脂肪族アルコールエステル、(C2～C8)ヒドロキシカルボン酸の(C8～C22)モノ-もしくはポリ-不飽和脂肪族アルコールエステル、上記のもののいずれかの1モルのヒドロキシカルボン酸あたり5モル未満のアルコキシドを有するアルコキシリ化誘導体、またはそれらの組合せを含む有効量の抗菌成分を含み、そして

前記組成物が、-ヒドロキシ酸、-ヒドロキシ酸、キレート化剤、(C1～C4)アルキルカルボン酸、(C6～C12)アリールカルボン酸、(C6～C12)アラルキルカルボン酸、(C6～C12)アルカリールカルボン酸、フェノール系エンハンサー化合物、(C1～C10)アルキルアルコール、エーテルグリコール、またはそれらの組合せを含むエンハンサー成分の有効量をさらに含むが、

ただし、前記組成物がパラベンまたはフェノキシエタノールを含まない、抗菌組成物。

## 【請求項3】

哺乳類の粘膜組織上の微生物を死滅させるかまたは不活化させる方法であって、

前記方法が、前記哺乳類の組織を、(C2～C8)ヒドロキシカルボン酸の(C7～C14)飽和脂肪族アルコールエステル、(C2～C8)ヒドロキシカルボン酸の(C8～C22)モノ-もしくはポリ-不飽和脂肪族アルコールエステル、上記のもののいずれかの1モルのヒドロキシカルボン酸あたり5モル未満のアルコキシドを有するアルコキシリ化誘導体、またはそれらの組合せの有効量を含む抗菌組成物と接触させることを含む、方法。

## 【請求項4】

感染された創傷または病変を治療する方法であって、

患部組織を、(C2～C8)ヒドロキシカルボン酸の(C7～C14)飽和脂肪族アルコールエステル、(C2～C8)ヒドロキシカルボン酸の(C8～C22)モノ-もしくはポリ-不飽和脂肪族アルコールエステル、前述のもののいずれかのアルコキシリ化誘導体、またはそれらの組合せの有効量を含む抗菌組成物と接触させることを含むが、ここで前記アルコキシリ化誘導体が、1モルのヒドロキシカルボン酸あたり、5モル未満のアルコキシドを含む、方法。